

第 150 回 中野区の伊藤金左エ門像

筆者：林 久治（記載：2021 年 4 月 13 日）

（1）前書き

私（筆者の林）は [Random Walks（乱歩）](#) という題名で [偏屈老人（林久治）の気促な紀行文](#) のサイトを始めている。私の紀行文では、通常の紀行文にはない、斜め目線からのご紹介を書くことに拘りたいと思います。通常の紀行文に関しては、既に優れたサイトが沢山ありますので、それらをも引用しつつ、ユニークなご紹介を記載することに心掛ける所存です。

一方、私は日本の銅像探偵団 ([1\)のサイト/](#)) の銅像探索に参加している。私は珍しい銅像を探して、探偵団の団長さんに「ギャフン！」と仰っていただけることを目標としている。ここで「珍しい」とは、「①見つけ難い場所に隠れている有名人の銅像。②市井で頑張って人生を過ごしたが、有名人ではない人物の銅像」と言う意味である。私は自宅が東京にあり、孫達が大阪にいますので、主として東京近郊と近畿地方で銅像探索を行っている。最近、私はネット記事を丹念に調査し、そのような「スクープ銅像」の候補を多数見つけている。

3 月になり、武漢肺炎の緊急事態宣言は 2 週間延長になったが、自粛生活で家に籠っていると、運動不足で体重が増加するし、精神的にも圧迫を感じる。私の銅像探索は不要不急の活動ではなく、私の生存に必要不可欠である。最近の東京都新規感染者は 1 日に 300 人前後に収まっているので、出来るだけ人出の少ない所に行くようにしている。

3 月 7 日には早稲田に行って、その探索記を [146 回の記事/f](#) に記載した。3 月 15 日には新宿中央公園を探索し、その探索記を [147 回の記事/f](#) に記載した。3 月 27 日に大久保に行って、その探索記を [148 回の記事/f](#) に記載した。4 月 3 日には、成城学園の澤柳政太郎像と吉祥寺駅前の「ゾウのはな子像」を探索し、その探索記を [前回の記事/f](#) に記載した。

私は 4 月 10 日には、中野区の神明氷川神社に参詣し、その境内に設置されている伊藤金左エ門像を探索した。その探索記を本稿に記載する。本稿では資料からの引用を **緑文字** で、私の注釈や意見は **青文字** で記載する。

（2）中野駅から神明氷川神社への道順

私は、大江戸線を利用して東中野駅まで行き、JR に乗り換えて中野駅まで行った。中野駅から神明氷川神社までは（南台交差点で下車）、京王バスが頻繁に出ている。その路線図を次ページの図 1 上に示す。図 1 下には、中野駅のバス乗り場を示す。南口の乗り場①から、中 82、宿 45、および渋 63 系統のバスが頻繁に出ている。当日、私が乗り場①に行くと、1 台の京王バスが停車していた。中野駅から南台交差点までは、道も空いていて、10 分くらいで快適に行くことが出来た。

南台交差点の周辺地図を、3 ページの図 2 に示す。

（本文は、3 ページに続く。）



図1.

上：JR 中野駅南口からの京王バスの路線図。

本図は、[2\) のサイト/f](#)より借用。

下：JR 中野駅のバス乗り場。

本図は、[3\) のサイト/1](#)より借用。



図 2. 南台交差点の周辺地図（+の位置が、神明氷川神社である。）
 本図は、[4\) のサイト/](#)より借用。



図 3. 神明氷川神社の鳥居

(3) 神明氷川神社の概要

図3に、神明氷川神社の鳥居から見た境内の写真を示す。本境内は、住宅街の中に緑の杜が保存されていて気持ちが良い。図4に、当社の起源を示す趣意書を示す。

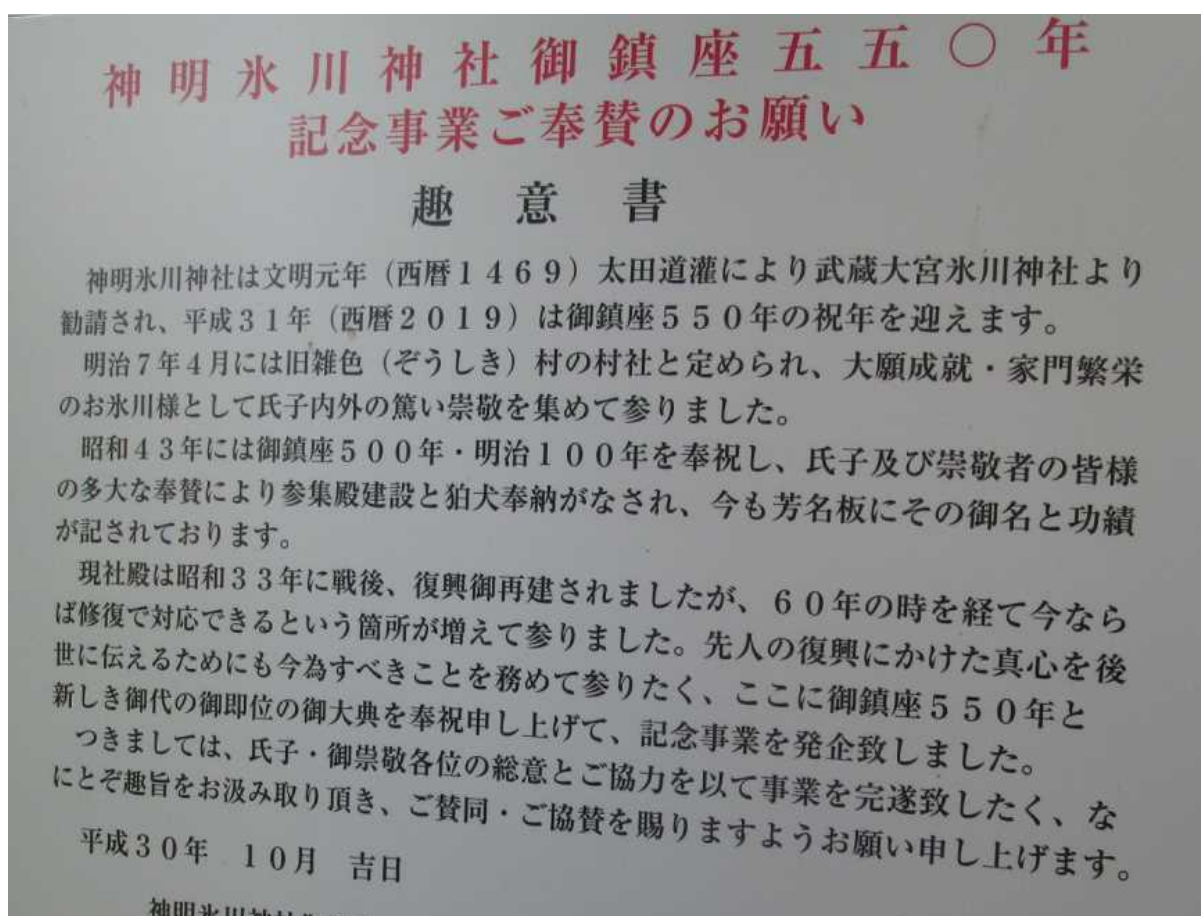


図4. 神明氷川神社御鎮座 550 年記念事業の趣意書

何故、当社は「神明」を冠しているのでしょうか？当社の HP ([5\) のサイト/](#)) に、その答えが次のように書かれている。

神明氷川神社の神様は、文明元年（室町時代）（1469 年）に太田道灌が、武蔵大宮氷川神社より御招きした神様です。毎年祭日には太田家より玉串が奉納されたと伝えられています。神社が所在する地域は、旧雑色（ぞうしき）村字川島の村を守るための神社で、明治7年4月（1874 年）に旧社格は村社に認定されました。新編武蔵風土記（文化6 年編、1809 年）には、氷川神社と神明社の合社と記載されています。神明社（祭神大日靈命 別名天照大神）の名称から旧町名神明町（弥生町の前）は名づけられました。神明社は、氷川神社の北の神田川の畔（あぜ）から移転して氷川神社と合祀されました。

(4) 伊藤金左エ門像の探索

当社の拝殿に向かって左側に一基の胸像が設置されていた。その周辺と近接写真を次ページの図4に示す。

（本文は、6 ページに続く。）

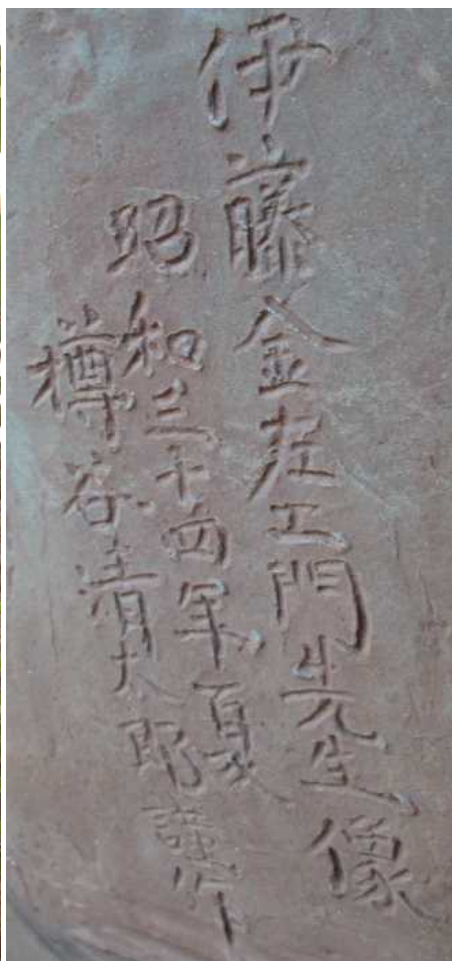


図4. 上：伊藤像の周辺、下左：伊藤像の近接写真、下右：伊藤像の背面。

伊藤像はいかにも温厚朴訥なお顔であった。本像の背面には次のような彫文があった。「伊藤金左エ門先生像 昭和三十四年夏 樽谷清太郎謹作」本像の台座背面には銘文が張り付けてあった。しかし、台座背面と石垣の間は20cmくらいしかなく、背後から銘文を拝読することも撮影することも不能であった。そこで、間隙にカメラを差し込んで、何とか銘文を撮影した。その写真を次ページの図5に示す。

本文には、以下のように書かれていた。

伊藤金左エ門翁は明治十八年十一月東京府豊玉郡中野村の素封家に生る

資性温厚篤實然も進取の氣に富み若冠中野町議員に選ばれ次いで中野町長 東京府會議員
同市會議員と永年に亘り地方自治の要路につく

尚中野町消防組頭 同土区画整理組合長 同防火協會長 同聯合町會長等の重職を歴任
近くは地下鉄誘致等教育産業及び保安福祉諸般の自治発展に挺身盡瘁せらる

即ち吾等痔茲に相企り稀にみる自治功勞者たる翁の幾多の偉績を偲びその像を刻み副へ以て
永く後世に傳へんとす 昭和三十五年五月三日 伊藤金左エ門翁顕彰會

以上の銘文より、伊藤氏は中野区の地方自治に貢献した人物であることが分かる。しかし、ネット上には、ウィキペディアの記載がなく、氏の記事は少ない。その僅かな記事の一部を以下に紹介する。

① [6\) のサイト/8](#)に次のように書かれている。

【書名】 大震災時給與米資料 関東大震災資料【巻冊】 七枚

【著者】 中野町長伊藤金左衛門【成立】 大正十二年九月二十五日

これは、5500円で売られている関東大震災時の資料である。当時、伊藤氏は中野町長であったことが分かる。

② [7\) のサイト/f](#)に次のように書かれている。

給与票（綿入れ・襦袢・下着）中野町長伊藤金左衛門

これは、東京江戸博物館が所有している資料の一部である。本資料からも、当時、伊藤氏は中野町長であったことが分かる。

③ [8\) のサイト/f](#)に次のように書かれている。

南中野地区、神明本三町会歴代会長

初代 伊藤金左衛門（昭和30年-昭和36年）

本資料から、伊藤氏は1961年までは健在で、町内会長を務めていたことが分かる。

なお、[9\) のサイト/8](#)によれば、本像の制作者の樽谷清太郎（たるたに せいたろう、1903-1973）氏の略歴は次の通りである。

樽谷氏は彫刻家。高岡市二番町に鮮魚商政男の長男として生まれる。大正11年（1922）高岡工芸学校彫刻科を卒業し、東京美術学校彫刻科に入学。朝倉文夫・北村西望に師事する。昭和3年（1928）同校を卒業。在学中、帝展に初入選し、以後8回入選。文展3回入選・無監査推薦3回出品。日展4回入選・日展依嘱出品。この間受賞2回。昭和23年（1948）から日本彫刻家連盟事務長を3期務めた。昭和26年（1951）東京都主催日比谷公園野外彫刻展を創立。昭和35年（1960）東京都豊島区美術協会長、山林美術界彫刻部代表委員など要職を数多く務める。代表作は堅実で伸びのある裸婦立像「想念」のほか、「慈母観音像」（兵庫県池田市）、「お鶴とお弓の像」（徳島市）、元運輸大臣の「岡田勢一郎像」などがある。県内では富山城址公園の「ライオン噴水」が知られる。享年70歳。

伊藤金左五門翁
豊多摩郡中野村
篤實然も進取の
に選ばれたいで
同市會議員とし
路につく尚中
整理組合長同
等の重職も歴任
産業及び保安福
瘁せらるる即ち
治功勞者たる翁
を刻み記を副へ
昭和三十三年五月

翁は明治十八年十一月
の素封家に生る
氣に富み若冠中野
中野町長東京府
野町永年に亘り地
方自治
野町消防組頭同
野火協會長同
防火協會長同
近頃は地下一
社諸般の自治
音等茲に相
の幾多の偉績を
以て永く後世に
三日月伊藤金左五門翁

年十一月東京府
資歴温厚
冠中野町會議員
東京府會議員
り地方自治の要
頭同土地區劃
同聯合町會長
下飲諫致等教育
治を發展に勉身
企り慈恵にみ
績を徳びその像
左五門翁顯彰會

図5. 伊藤像の台座背面に貼付された銘文

以上の資料などにより、本像の概要は次の通りである。

伊藤金左エ門翁（1885-？）之像

設置場所：東京都中野区弥生町 4-27-30 神明氷川神社拝殿左側

設置時期：1960年5月3日 伊藤金左エ門翁顕彰會

制作者：樽谷清太郎（1903-1973）

制作時期：1959年夏

設置経緯（台座背面の銘文）：

伊藤金左エ門翁は明治十八年十一月東京府豊玉郡中野村の素封家に生る

資性温厚篤實然も進取の氣に富み若冠中野町議員に選ばれ次いで中野町長 東京府會議員
同市會議員と永年に亘り地方自治の要路につく

尚中野町消防組頭 同土区画整理組合長 同防火協會長 同聯合町會長等の重職を歴任
近くは地下鉄誘致等教育産業及び保安福祉諸般の自治発展に挺身盡瘁せらる

即ち吾等痔茲に相企り稀にみる自治功勞者たる翁の幾多の偉績を偲びその像を刻み副へ以て
永く後世に傳へんとす

昭和三十五年五月三日 伊藤金左エ門翁顕彰會

参考資料

- 1) のサイト：<https://douzou.guidebook.jp/>
- 2) のサイト：https://www.keio-bus.com/bus/1_keio_rosenzu.pdf
- 3) のサイト：https://www.tokyobus.or.jp/mobile/terminal/nakano_map.html
- 4) のサイト：<https://www.mapion.co.jp/phonebook/M06005/13114/21330419927/>
- 5) のサイト：<http://shinmei-hikawa-g.org/>
- 6) のサイト：
https://www.kosho.or.jp/products/detail.php?product_id=217633788
- 7) のサイト：https://www.edo-tokyo-museum.or.jp/assets/img/2020/08/okurimono_listv.pdf
- 8) のサイト：<https://nakano-chokai.jp/wp/wp-content/uploads/2017/05/p016-001%E7%A5%9E%E6%98%8E%E6%9C%AC%E4%B8%89.pdf>
- 9) のサイト：<https://bunka.nii.ac.jp/db/heritages/detail/233388>